

Science Education Center



北海道立教育研究所附属理科教育センター

理科（小 冬期）研修講座

平成29年1月12日(木)～13日(金)

対象：小学校教諭等

講座内容

- ☆ 小学校理科教育の現状と課題
- ☆ 「教科書で教える」ポイント
- ☆ A区分 エネルギー、粒子における観察・実験
- ☆ B区分 生命、地球における観察・実験

実感を伴った理解を図る理科の授業づくりについて、観察・実験等を通して研修し、実践的指導力の向上を図ります。

理科の指導法や観察・実験等の技能を身に付けたいと考えている先生方を対象としています。

受講者の声



〈講義〉

各学年において重要な問題解決の能力がどのようなものなのかを確認できた。子どもにどのような力をつけていくか、そのために教師がどのように授業を組み立てていくことが必要なのかを改めて考える機会となった。



〈実習(生命)〉

手羽の筋肉の観察や、筋肉モデルづくりが、参考になった。また、ハチを紙粘土で作る活動は、体のつくりを理解させるのに有効な方法であると感じた。ぜひ、授業に取り入れたと思った。



〈実習(エネルギー)〉

ものづくりの楽しさを実感することができ、手を動かし、実際にやってみることが大切だと思った。楽しく活動している中で、「なぜだろう？」とつぶやいた子の発言を取り上げて授業を展開していきたいと思った。

研修講座の詳しい日程・内容については、各学校に配布しております冊子「道研事業案内」もしくは道研ウェブページ (<http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/>) を御覧ください。

詳しい日程・
内容はこちら
から

